

今月のおすすめ図書

◆一般図書

日本史真髓



井沢元彦／著 小学館
「ケガレ」「和」「怨霊」「言霊」「朱子学」「天皇」の6つの逆説史観で歴史を読み解くと、日本人の思考や行動を呪縛するものの正体が見えてきます。

図書室のはこぶね



名取 佐和子／著 実業之日本社
ある日、10年前に貸し出されたままだったケストナーの「飛ぶ教室」が図書室に戻ってきた。なぜこのタイミングで…。一冊の本に秘められたドラマが動き出す。

♥児童図書

津津浦浦 (月刊「たくさんのふしぎ」2023年3月号)



野坂勇作／文・絵 福音館書店
日本全国の鉄道の駅名に付いている「津」「浦」「シ(さんずい)」の字。鉄道好きの作者が「津津浦浦」を鉄道の旅とフィールドワークで巡り、日本人のくらしを探求します。

「図書貸出利用証」を作りますか

米子市、周辺地域にお住まいの方は無料で発行します。米子市立図書館の本を1人10冊、2週間まで借りることができます。発行には本人確認書類が必要です。カウンターか図書館車巡回先でお問い合わせください。



米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎22-2612 FAX22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、31日(月末資料整理)

2階ギャラリー「見る場所を見る2+イラストで見る米子の映画館と鉄道の歴史」

山陰本線開通から今年で121年目。鉄道の発展は米子の映画興行に多くの影響を与えました。本展示では、それらをイラストで再現したClaraさんの作品や映画館のプログラムを通して、映画受容の変化を明らかにします。(共催：鳥取大学地域学部附属芸術文化センター)

▶と き 8月1日(火)～30日(水)

◇講演会 & ギャラリートーク「イラストによる記憶の復元「見る場所」と交通網の変遷を辿る」

▷と き 8月11日(金・祝)午後1時30分～3時

▷定員 80名(申込不要・無料)

▷出演 杵島和泉さん、佐々木友輔さん、Claraさん、吉田明広さん



©Clara

今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会、図書館職員)(☆)
毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

(☆) 19日(土) 午前10時30分

▽夕方おはなし会(図書館職員)(☆)

8日(火) 午後4時

▽火曜の会朗読コンサート「星は見て
いる」～原爆の日に寄せて～

9日(水) 午後1時30分

「各種講座」

▽つつじ読書会

『その日暮らし』の人類学 もう一つの資本主義経済 小川さやか(光文社)(初めての方☆)

5日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めての方☆)

6日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)

8日(火) 午後3時

9日(水) 午前10時30分

(いずれも1日(火)予約受付開始)

※9月の予約は9月1日(金)受付開始

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

26日(土) 午前10時30分

▽古文書研究会「多比能貫久佐」ほか

26日(土) 午後1時30分



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文・写真／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

最もよく見られる
アオモンイトトンボ



全身真っ赤な
シヨウジョウトンボ



夏は鳥が少ない一方で、水辺の昆虫が多く見られます。この時期は園内の鳥以外の生き物に注目してみるのはいかがでしょう。今回お勧めするのはトンボウォッチングです。

トンボは比較的体が大きくて、目立つ場所にとまるので見つけやすく、色が美しいことも楽しめるポイントです。

園内でトンボウォッチングするのには良い場所は、メダカ池です。小さな池なので周囲を歩いて探しやすい、間近で観察できます。最もよく見られるのは、お尻の先が水色のアオモンイト

トンボウォッチングのすすめ

トンボです。また、眼が水色で体が青白いシオカラトンボ、眼と胸が緑色で腰が水色のギンヤンマ、頭から尾の先まで真っ赤なシヨウジョウトンボなども見られます。

トンボは警戒心が強いですが、一度逃げても待っていれば戻ってくることも多く、同じ場所を何度も飛ぶことも多いので、コツをつかめば観察しやすい昆虫です。ちなみに、トンボの鮮やかな色は保存できず、死ぬとあせてしまいます。生きている時だけの美しい姿をぜひ、観察していただきたいです。

美術館通信

特別企画展

「井田幸昌展 Panta Rhei | パンタ・レイー世界が存在する限り」

井田幸昌（1990年鳥取県日吉津村生まれ）は、今最も注目されている画家・現代美術家の一人です。日本の民間人として初めて2021年に宇宙旅行をした前澤友作氏によって、作品が国際宇宙ステーション（ISS）に持ち込まれたことでも話題を呼びました。本展は、国内美術館初となる個展で、国内未発表作を含むこれまでの絵画作品、立体作品に加えて、井田が絵日記のように日々綴る“End of today”シリーズ、そして最新の作品までを一堂に展示します。

▶会期 ～8月27日（日）【水曜日休館】

▶観覧料

一般 1,300円 高校・大学生 900円

中学生以下無料

☎ 米子市美術館 ☎ 34-2424



Yukimasa Ida, Last Supper, 2022, Oil on canvas,
293.0 × 582.0 cm